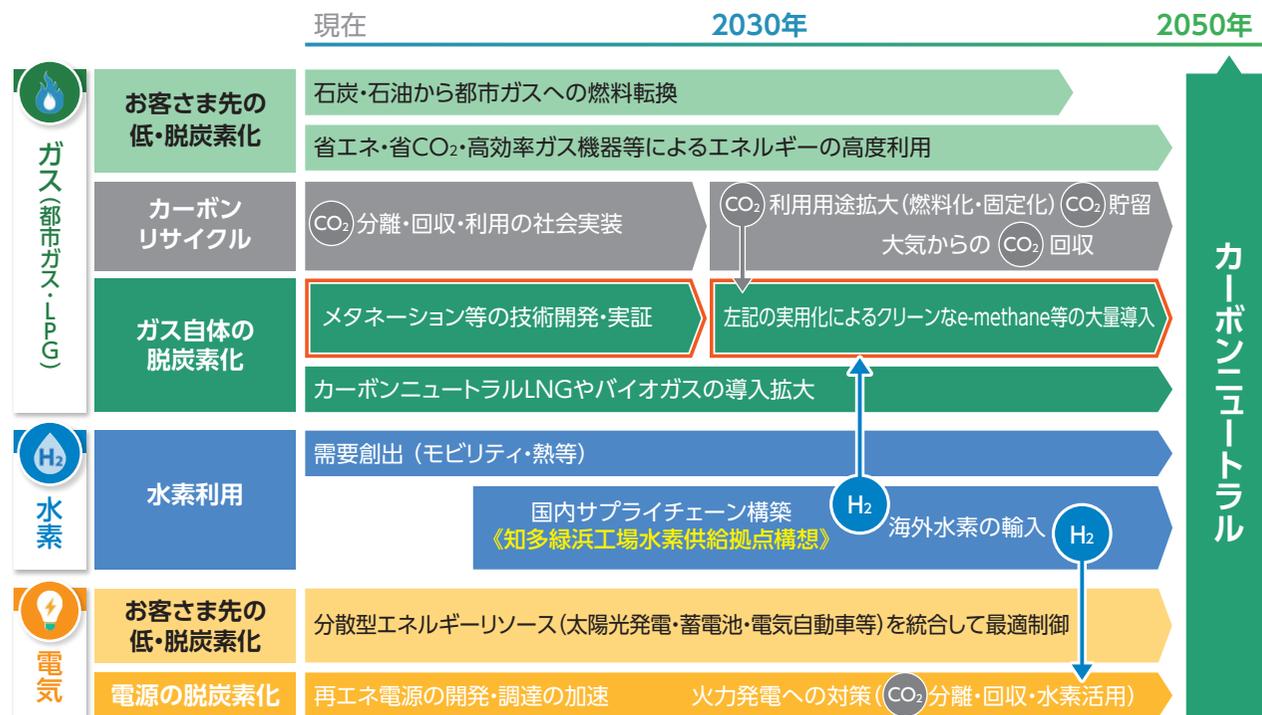


2050年カーボンニュートラルへの挑戦

当社は1922年の創業以来、エネルギー供給を通じて、中部地区の「暮らし」と「ビジネス」を支え、地域とともに発展してきました。主力である都市ガス事業の原料は、石炭系から石油へ、そして現在では化石燃料の中で環境負荷が小さい天然ガスへと、順次転換してきたことに加え、高効率なガス機器の開発ならびに導入促進を通じて、環境負荷の軽減に積極的に取り組んでまいりました。

昨今の世界の地球温暖化に対する危機感の高まりを背景に、2021年7月に「2050年カーボンニュートラルへの挑戦」を策定・公表しました。カーボンニュートラルの実現に向けて、足元からお客さま先の低炭素化、さらには脱炭素化の取り組みを加速するとともに、水素の利用やカーボンリサイクルの技術革新に注力し、将来的なガス自体の脱炭素化に繋がります。

当社グループは、都市ガスとLPGを含めたガス、水素、そして電気の3つのエネルギーを軸として、多様な手段の組み合わせにより、クリーンでカーボンニュートラルなエネルギーシステムの構築を目指します。



2030・2025年度目標および進捗状況

CO₂削減貢献量

2022年度実績	2025年度	2030年度
30.7 万t	100万t	300万t

都市ガス・LPGへの燃料転換や高効率機器の導入、さらにはガス自体の脱炭素化や、再生可能エネルギーの導入拡大によるお客さま先のCO₂排出削減に加え、CO₂自社排出量の削減に努め、事業活動を通じたCO₂削減に貢献します。

再生エネルギー取扱量

2022年度実績	2025年度	2030年度
9.3万kW	25万kW	50万kW

国内外における太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギー電源の開発、保有、調達など、電力事業における再生可能エネルギー電源取扱量を拡大します。

